

技術士包装物流会関西支部 福喜多俊夫

＜中国 EV 情報 73＞では 2016 年 10 月に入手した中国政府諸部門やマスコミからの新エネルギー車、EV 情報を記載します。

1. LG 電子、南京に EV 部品工場

LG 電子（韓国）は 29 日、中国・南京に電気自動車（EV）の部品工場を建設したと明らかにした。28 日に完成式典を開いた。電池の中核部材「セル」に制御システムなどを取り付けて「パック」に加工する工程があるようだ（日経 9 月 30 日）

2. 世界自動車大手、中国新エネ車市場照準

中国自動車工業協会の統計データによると、新エネ車の 2015 年の販売台数は前年比 3.4 倍増の 33 万 1000 台に達した。新エネ車の今年 1-8 月の販売台数はすでに 24 万 5000 台に達しており、前年同期比 115.6% 増となった。この統計データによると、中国は世界最大の新エネ車市場であり、成長率でも世界一となっている。

新エネ車市場は中国政府の支持を受け、たちどころに中国ブランドに占められた。政府からの補助金と政策面の支援により、中国ブランドが生産する新エネ車は補助金により、販売の欠損を補うことができた。また各都市の新エネリストに入ることで、自動車購入の抽選の必要がなくなり、交通規制の対象外になるといった政策面のメリットを得ることができた。しかし中国政府は補助金を徐々に減らし、さらに 2020 年に取り消すことで、新エネ車と自動車メーカーの完全な市場化競争を促すことを明らかにしている。そうなれば中国ブランドの自動車メーカーは、グローバルメーカーと同じ条件で競争しなければならない。各国のグローバルメーカーが先ほど発表した新エネ戦略は、2020 年以降の中国新エネ市場への野心を示している。

*VW

フォルクスワーゲン（VW）は今年 6 月に新戦略「TOGETHER STRATEGY 2025」を発表した。電気自動車（EV）とデジタル化はその非常に重要な部分となっている。うち VW は EV について、今後 10 年間で 30 車種以上を発売するとした。

VW は、EV が将来的に世界のセダン市場の 4 分の 1 を占めると予想している。そのため EV の 2025 年の販売台数は 200-300 万台に達し、世界の EV 販売台数の 20-25% を占めることになる。今後数年間で市場シェアを急速に高め、EV の販売台数を拡大するため、VW はバッテリー技術に注力し、これを新たな競争力にする。メディアの報道によると、同社はドイツで 110 億ドルを投資し、バッテリー新工場を建設する可能性がある。

*GM

ゼネラル・モーターズ（GM）の新エネ戦略は VW よりも現地化されている。GM は今年 3

月、中国での新エネ戦略を発表し、2020年までに中国市場でEVを10車種以上発売すると明記した。GMが5-10年以内に発売する予定のEVには、ビュイック、シボレー、キャデラック、中国市場向け低価格ブランド「宝骏」が含まれる。また毎年、国産ハイブリッド車（HV）を1車種以上発売し、HV、EV、プラグインハイブリッド車（PHV）というすべての新エネ製品を網羅する。またビュイック、シボレー、キャデラックのフラグシップモデルについても、今年中に新エネ版を発売する。GMは同計画を発表してから現在まで、フルモデルチェンジした国産ビュイック・ラクロス（HV）、シボレー・マリブXL（HV）を発売している。

*BMW

BMWは今年9月、中国で5シリーズ・9車種の新エネ車を発売すると発表した。BMW i革新プラットフォームのBMW eDrive（PHV技術）を、全シリーズの主力車種に投入する。BMWは中国市場で現在、すでに複数の新エネ車（BMW i3の3車種、BMW i8の2車種、BMW-7の2車種、BMW X5の1車種による計8車種）を販売している。国産の新型BMW X1（PHV）が追加されれば、計9車種になる。（中国網10月10日）

3. テスラの新車は完全自動運転に

米電気自動車メーカーのテスラは19日、同社工場で生産する全ての車に完全自動運転機能を持つハードウェアを搭載すると発表した。

同社によると、モデルSとモデルXに上記の新型ハードウェアを搭載する。8個のカメラと12個の新型センサーと新型レーダーなどが組み入れられる。新しいハードウェアの製造費は8000ドル。関連ソフトウェアを現在試験中であるという。メディア記者の取材に対し、当日行われた電話会議の中でイーロン・マスクCEOが答えた。2017年末までにテスラ車は、ロスからニューヨークまで「何の操作もせず」自動運転を行えるようになるという。マスクCEOは予測する。（中国網10月24日）

以上